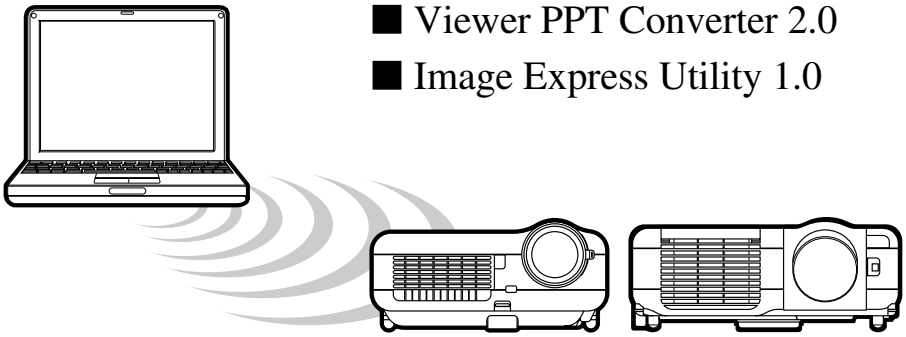
NECプロジェクタ

NEC

アプリケーションガイド

■ Dynamic Image Utility 2.0
■ Viewer PPT Converter 2.0
■ Image Express Utility 1.0



目　次

添付ソフトウェアをご使用される前に必ずお読みください
（ソフトウェア使用許諾契約） 1
1.はじめに 3
- 添付CD-ROM の構成 3
- 添付ソフトウェアでできること 3
- プロジェクタとの“ かんたん接続 ”モードについて 5
- 対応プロジェクタ 5
- 動作環境 6

2.機器の接続と設定 7
- ネットワーク環境を利用する場合 7
- USBケーブル、シリアルケーブルで接続する場合 8

3.ソフトウェアのインストール 9
- インストール 9
- アンインストール 10

4.ソフトウェアの起動／終了 11
- Dynamic Image Utility 2.0 11
- Viewer PPT Converter 2.0 12
- Image Express Utility 1.0 13

5.トラブルシューティング 14

【お客様へのお願い】

本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。

- IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPoint、MS、MS-DOS、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他本書に記載されているメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。

（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

（5）乱丁、落丁はお取り替えいたします。

添付ソフトウェアをご使用される前に必ずお読みください

本ソフトウェア使用許諾契約(以下、「本使用許諾契約」といいます。)の内容を必ずご確認ください。添付のCD-ROMのインストーラ起動時に表示される、本使用条件の「はい」のボタンを押した場合、お客様は、本使用条件に同意したものとみなされます。また、お客様が本使用条件に同意できない場合は、「いいえ」のボタンを押してください。この場合、NEC Projector User Supportware(以下、「本ソフトウェア」といいます。)をご使用になれません。

【ソフトウェア使用許諾契約】

NECビューテクノロジー株式会社(以下、「弊社」といいます。)は、お客様に対し本ソフトウェアを下記条件に基づき使用する権利を許諾いたします。お客様が期待される効果を得るための本ソフトウェアの選択ならびに，本ソフトウェアの使用および使用の結果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

１．期間

（１）本使用許諾契約は、お客様が本使用条件に同意した日からお客様が本ソフトウェアおよび関連資料(ドキュメント等)を返却または廃棄することにより本使用許諾契約を解除する日まで有効とします。

（２）前項の定めにかかわらず、弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときには、いつでも本使用許諾契約を解除することができます。
弊社が本使用許諾契約を解除した場合、お客様に許諾された本ソフトウェアの使用権も同時に終了するものとします。お客様は、本使用許諾契約を解除された場合、直ちに本ソフトウェアおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

２．使用権

お客様は、本ソフトウェアとともに提供されたプロジェクタまたは別途弊社が指定するプロジェクタ製品(以下、併せて「本製品」といいます。)を操作するためにパーソナルコンピュータ上で本ソフトウェアを使用することができます。

３．本ソフトウェアの複製、改変

（１）お客様は、本製品を使用するために、必要な限度で本ソフトウェアおよび関連資料を複製することができます。この場合、お客様は、本ソフトウェアのすべての複製物に、本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の表示を付すものとします。

（２）お客様は、本使用許諾契約で明示的に許諾されている場合を除き、本ソフトウェアの使用、複製、改変、またはその他のいかなる処分も行うことはできません。

（３）本使用許諾契約は、本ソフトウェアに関するいかなる知的財産権もお客様に譲渡するものではありません。

4．本ソフトウェアの譲渡等

（1）お客様は、次の条件に該当する場合にのみ、本ソフトウェアを第三者に譲渡することができます。

ａ)本ソフトウェアおよび関連資料ならびにそれらのすべての複製物を第三者に譲渡し手元に一切を残さないこと。

かつ、

ｂ)前号の定めに基づく譲渡を受けた第三者が、本使用許諾契約に合意すること。

（2）前項に明示した場合をのぞき、お客様は、いかなる場合であっても本ソフトウェアの使用権につき、再使用許諾、譲渡、移転その他の処分を行うことはできません。

5．逆コンパイル等

お客様は、本ソフトウェアをリバース・エンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。ただし、本条に定める行為が、適用ある法令により明示的に認められる場合はこの限りではありません。

6．保証の制限

（1）本ソフトウェアは、現状のままで提供されるものとし、本使用許諾契約に明示されたものを除き、弊社は、商品性および特定目的との合致性に関する保証ならびに第三者の権利を侵害しないことを含め、本ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。

（2）本ソフトウェアの記録媒体に本ソフトウェアの使用に支障をきたすような重大な欠陥があった場合において、お客様が本ソフトウェアの記録媒体をお受取りになった日から1 ヶ月以内に、本製品の保証書の写しを添えて、弊社または本製品をお求めになった取扱店に当該記録媒体を返却された時には、弊社は当該記録媒体を無償で交換するものとします。ただし、当該交換は、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限り、行うものとします。

7．責任の制限

弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます。)および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。

8．その他

（1）本使用条件は、日本法によって解釈されるものとします。

（2）お客様は、適用ある法令により輸出を禁止されたいかなる国にも本ソフトウェアを輸出することはできません。

1. はじめに

このたびは、NECプロジェクタ(以降「プロジェクタ本体」を「本機」または「プロジェクタ」と呼びます)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は、パソコンなどに接続して、文字や図形をスクリーンに鮮明に投映するプロジェクタです。

本機には、プレゼンテーションをより簡単に効果的に行っていただけるように、便利なソフトウェアを添付しています。本書では、本機に添付されているソフトウェア(添付CD-ROMに収録)の概要や使用方法について説明しています。各ソフトウェアのヘルプとあわせてご覧ください。

■ 添付 CD-ROM の構成

添付CD-ROMには、次のソフトウェアを収録しています。

- Dynamic Image Utility 2.0
- Viewer PPT Converter 2.0
- Image Express Utility 1.0

各ソフトウェアの機能や操作方法は、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

■ 添付ソフトウェアでできること

Dynamic Image Utility 2.0

●PowerPointファイルやJPEG画像などを変換して、プロジェクタのビューワ機能で表示することができるスライドを作成します。

●ワープロや表計算ソフト、ブラウザなどの画面から、プレゼンテーションに必要な部分をキャプチャすることができます。

●作成したスライドをフラッシュメモリカード(*1) に保存し、プロジェクタのPCカードスロットにセットすると、パソコンを接続せずにスライドをスクリーンに投写することができます。

●パソコンとプロジェクタを、ネットワーク環境(*2) でつないだり、USBケーブル(*3)や、シリアルケーブルで接続すると、次のことが行えます(ネットワーク環境、USBケーブル(*3)の場合は、複数台への対応が可能)。

(1)パソコンからプロジェクタへ画像やスライドを送信し、スクリーンに投写することができます。Microsoft PowerPoint 2000/2002/2003をお使いの場合は、スライドショーのページ送りに同期してスライドを送信できます。

(※次のページに続く)

(2)パソコンを使ってプロジェクタの電源の入／切や画質の調整などを制御したり、ランプの残り時間を表示したりできます(プロジェクタコントロール機能)。

Viewer PPT Converter 2.0

●Microsoft PowerPoint 95/97/2000/2002/2003で作成したファイルを、プロジェクタのビューワ機能で直接再生できるように独自のIndex 形式に簡単な操作で変換します。

●Microsoft PowerPoint 2000/2002/2003をお使いの場合は、PowerPoint から Viewer PPTConverter 2.0を起動することができます(PowerPointへアドイン登録)。

Image Express Utility 1.0

●パソコンで表示している画面を、ネットワーク環境(*2) を使ってプロジェクタに送信し、スクリーンに投写することができます。

●プロジェクタへ画面を送信する方法として、一定時間ごとにパソコンの画面を自動的に送信する「リアルタイム送信」と、画面のボタンをクリックして(または、キーを押して)画面を送信する「ワンショット送信」の２つがあります。

＊1：市販されているPCMCIA-Type 2(ATA仕様)のフラッシュメモリカードをお買い求めください。
＊2：6ページのネットワーク環境をご確認ください。
＊3：LT260J、LT260SJ、LT220J、VT770Jは、USBケーブルに対応していません。

参考 **・本ソフトウェアのバージョンアップ情報について**

NEC Projector User Supportware (Dynamic Image Utility、Viewer PPT Converter、Image Express Utility)のバージョンアップ情報については、当社プロジェクタのサポートページ(http://support.nevt.co.jp/vlclub/download/index.html)をご覧ください。

■ プロジェクタとの “ かんたん接続 ” モードについて

- “ かんたん接続 ”は、パソコンとプロジェクタ（１対１）を無線LANで接続し、Image Express Utility を使用する場合に、面倒なLAN の設定を省略できる通信モードです。
- プロジェクタ側（除くGT6000 / GT5000）は、アドバンストメニュー→[機器設定]→[LANモード]→[通信モード]で、「かんたん接続」を選択します（IPアドレスやチャンネル、SSIDを設定する必要はありません）。
- 添付CD-ROMからソフトウェアをインストールしたあと、Image Express Utilityで“ かんたん接続 ”を実行する前に、当社プロジェクタのサポートページ（前ページのURL）において、最新の情報をご確認ください。そして、必要に応じてソフトウェア（Image Express Utilityおよび関連するソフトウェア）をダウンロード（無料）し、バージョンアップしてください。
- かんたん接続は、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、およびWindows XP Home Editionの環境で有効になります。
  Windows XP Tablet PC Editionで使用する場合は、Image Express Utilityバージョン1.01.0004以上が必要です。
- かんたん接続は、パソコン側とプロジェクタ側の双方で、別売の無線LANカードを使用しているときのみ有効になります。
- かんたん接続は、添付CD-ROM内のDynamic Image Utilityでは機能しません。

■ 対応プロジェクタ

以下のNECプロジェクタに対応しています。

GTシリーズ	GT6000 / GT5000*1
MTシリーズ	MT1065J / MT1060J / MT1075J
LTシリーズ	LT260J / LT260SJ / LT220J / LT260JK / LT260SJK
WTシリーズ	WT600J
VTシリーズ	VT770J*2

＊1: GT6000 / GT5000は、LANポート（RJ-45）を標準装備しています。

＊2: VT770Jは、ネットワーク接続に対応していません。そのため、Image Express Utility 1.0は使用できません。また、Dynamic Image Utilityの一部の機能が使用できません。

■ 動作環境

対応機種	DOS / V対応機(IBM PC/AT互換機) NEC PC98-NXシリーズ ・CD-ROMドライブ必須(インストール時に必要)
CPU	Pentium MMXプロセッサ以上必須 PentiumIII 800MHz以上推奨
メモリ	Windows XPの場合 ・128メガバイト以上必須 ・192メガバイト以上推奨 その他の場合 ・64メガバイト以上必須 ・128メガバイト以上推奨 ※同時に実行するアプリケーションによっては、さらに必要になる場合があります。
ネットワーク環境 (使用する場合)	TCP/IPをサポートしたLANまたは無線LAN環境必須 ※使用可能な市販のLANカードについては、当社ホームページ (http://www.nevt.co.jp/pjs/support/move_check.html) でご確認のうえ、最寄りのパソコンショップでお買い求めください。 ※無線の場合は、別売の無線LANカード(形名SWL-2100N-NJ)をお買い求めください。
対応ＯＳ	Windows 98、Windows 98 SecondEdition、Windows Me、 Windows 2000 Professional、Windows XP HomeEdition、 Windows XP Professional、Windows XP Tablet PC Edition ※以上の環境において、Microsoft Internet Explorer 5.01以上が必要 ※Windows の省電力機能には対応していません。
解像度	1024ドット×768ラインを推奨(LT220Jは、800ドット×600ラインを推奨)
画面の色	High Color(15ビット、16ビット) True Color(24ビット、32ビット)

2. 機器の接続と設定

■ ネットワーク環境を利用する場合

●できること

- Image Express Utility 1.0を使って、パソコンで表示している画面をプロジェクタに送信し、スクリーンに投写することができます。
- Dynamic Image Utility 2.0を使って、画像やスライドをプロジェクタに送信して、スクリーンに投写することができます。
- Dynamic Image Utility 2.0を使って、パソコンからプロジェクタの電源の入／切や信号選択、画質の調整などの操作を行うことができます(プロジェクタコントロール機能)。

●準備する機器

・プロジェクタ(本機)　・パソコン　・LANカード

●プロジェクタ側の設定

準備：

〈1〉 プロジェクタのPC カードスロットにLANカードをセットしてください(◯ 取扱説明書「5-3.フラッシュメモリーカードを本機にセットする」)。

〈2〉 プロジェクタの電源を入れ、スクリーンに投写してください(◯ 取扱説明書「3章　映像を投写する(基本操作)」)。

〈3〉 アドバンストメニューに切り換えてください(◯ 取扱説明書「6-1.オンスクリーンメニューの基本操作」)。

1 **(MENU)ボタンを押す。**

メニューが表示されます。

2 **(SELECT▼)ボタンで[機器設定]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。**

サブメニューが表示されます。

3 **(SELECT▼)ボタンで[LANモード]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。**

LANモードの設定画面が表示されます。

4 **各項目を設定する。**

各項目については、取扱説明書「6-8.機器設定」の「LANモード」を参照してください。

●パソコン側の設定

LANカード(アダプタ)の取扱説明書に従って通常のLAN接続の設定をしてください。
プロジェクタとの接続において、特有の設定はありません。

注意

・プロジェクタコントロール機能で、プロジェクタの電源の入／切を行う場合は、プロジェクタのメニューで[機器設定] → [セットアップ] → [ページ4]の[アイドルモード]を「オン」にしてください(◯ 取扱説明書「6-8.機器設定」)。

■ USB ケーブル (注)、シリアルケーブルで接続する場合

(注)LT260J、LT260SJ、LT220J、VT770Jは、USBケーブルに対応していません。

●できること

- Dynamic Image Utility 2.0を使って、画像やスライドをプロジェクタに送信しスクリーンに投写することができます。
- Dynamic Image Utility 2.0を使って、パソコンからプロジェクタの電源の入/切や信号選択、画質の調整などの操作を行うことができます(プロジェクタコントロール機能)。

USBケーブル接続の場合

●準備する機器

・プロジェクタ(本機)　・パソコン　・USBケーブル(本機に添付)

●プロジェクタ側の接続

USBケーブルの角形プラグをUSBポート(タイプB)に差し込んでください(◯ 取扱説明書「1-3.本体各部の名称」の「接続端子部」)。

●パソコン側の接続

USBケーブルの平形プラグをUSBポート(タイプA)に差し込んでください。

シリアルケーブル接続の場合

●準備する機器

- プロジェクタ(本機)　・パソコン
- シリアルケーブル

(LT260J/LT260SJ/LT220J/LT260JK/LT260SJK/WT600Jは、別売品:形名CA03D、GT6000/GT5000/MT1065J/MT1060J/MT1075J/VT770Jは、市販のRS-232Cクロスケーブル)

●プロジェクタ側の接続

シリアルケーブルを、PCコントロール端子(PC CONTROL)に差し込んでください(◯ 取扱説明書「1-3.本体各部の名称」の「接続端子部」)。

●パソコン側の接続

シリアルケーブルを、シリアル端子(RS-232C)に差し込んでください。

注意

・プロジェクタコントロール機能で、プロジェクタの電源の入／切を行う場合は、プロジェクタのメニューで[機器設定]→[セットアップ]→[ページ4]の[アイドルモード]を「オン」にしてください(◯ 取扱説明書「6-8.機器設定」)。

※GT6000、GT5000、MT1065J、MT1060J、MT1075Jは、USBケーブル接続時のみ[アイドルモード]を「オン」にしてください。

3.ソフトウェアのインストール

注意

- **ここでは、Windows XPでの操作を例に説明しています。**
- **Windows 2000の場合、ソフトウェアのインストール／アンインストールは、「Administrators」権限で行ってください。また、Windows XPの場合は「コンピュータの管理者」権限で行ってください。**
- **お使いのパソコンに**NEC Projector User Supportware（Dynamic Image Utility 2.0、Image Express Utility 1.0）**がインストールされている場合は、インストールする前に**NEC Projector User Supportware（Dynamic Image Utility 2.0、Image Express Utility 1.0）**をアンインストールしてください。**

■ インストール

Dynamic Image Utility 2.0とViewer PPT Converter 2.0を一括してインストールします。各々のソフトウェアを個別にインストールすることはできません。
続いて、Image Express Utility 1.0をインストールします。

準備：

Windowsを起動してください。
Windowsがすでに起動している場合は、起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。終了させないと、インストールが正常終了しない場合があります。

1 添付のCD-ROM をCD-ROMドライブへセットする。

User Supportware CD-ROMのセットアップ画面が表示されます。

参考
・セットアップ画面が表示されないときは．．．
〈1〉[スタート]をクリックする。
〈2〉[ファイル名を指定して実行(R)]をクリックする。
「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。
〈3〉[名前(O)]にCD-ROMドライブ名（例：「Q :¥」）と「SETUP.EXE」を続けて入力する。
・CD-ROMドライブ名は、お使いのパソコンによって異なります。
〈4〉[OK]をクリックする。
セットアップ画面が表示されます。

2 [はじめにお読みください]をクリックする。

「NEC Projector User Supportwareの概要」（readme.txt）が表示されます。

3 記載内容を確認したら、readme.txtウィンドウの ✕ をクリックする。

readme.txtウィンドウが閉じます。

4 [Dynamic Image Utility 2.0をインストールする]をクリックする。

しばらくすると、インストールの準備が始まります。
インストールの準備が終わると、「ようこそ」画面が表示されます。

5 「ようこそ」画面で[次へ(N)〉]をクリックする。

「ソフトウェア使用許諾契約」画面が表示されます。
・「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください。

6 同意する場合は、[はい(Y)]をクリックする。

・同意しない場合は、[いいえ(N)]をクリックして、インストーラを終了してください。

7 以降、画面のメッセージに従って操作する。

・Dynamic Image Utility 2.0がインストールされる際に、Viewer PPT Converter 2.0も一緒にインストールされます。

・再起動を要求するメッセージが表示されたら、Windowsを再起動してください。

8 セットアップ画面で[Image Express Utility 1.0をインストールする]をクリックする。

以降は、手順 5 ～ 7 の操作を行ってください。

・インストールが終了したら、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出してください。

参考 ・添付ソフトウェアのインストール操作の途中で、中止したいときは[キャンセル]をクリックして、ダイアログボックスの指示に従ってください。

■ アンインストール

Dynamic Image Utility 2.0、Viewer PPT Converter 2.0を一括してアンインストールします。各々のソフトウェアを個別にアンインストールすることはできません。
または、Image Express Utility 1.0をアンインストールします。

1 Windowsの[スタート]をクリックする。

2 [コントロールパネル(C)]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

3 [プログラムの追加と削除]をダブルクリックする。

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

4 一覧の中から「Dynamic Image Utility 2.0」をクリックする。

・Image Express Utility 1.0をアンインストールする場合は、一覧の中から「Image Express Utility 1.0」をクリックしてください。

5 [削除]をクリックする。

「コンピュータからDynamic Image Utility 2.0を削除しますか？」と表示されます。

6 メッセージを確認し、[はい(Y)]をクリックする。

7 以降、画面のメッセージに従って操作する。

アンインストールが終了すると、「プログラムの追加と削除」画面に戻ります。

8 [OK]をクリックする。

「コントロールパネル」画面に戻ります。

4.ソフトウェアの起動／終了

注意 ・ここでは、Windows XPでの操作を例に説明しています。

■ Dynamic Image Utility 2.0

●ソフトウェアを起動する

準備：

添付のCD-ROMからパソコンへインストールしてください(9ページ)。
添付のCD-ROMからは起動できません。

1 [スタート]メニューから[すべてのプログラム(P)]→[NEC Projector User Supportware]→[Dynamic Image Utility 2.0]をクリックする。

Dynamic Image Utility 2.0 が起動します。

参考
- Dynamic Image Utility 2.0でPowerPointファイルを選択し、[ツール(T)]→[PowerPointファイル変換(P)]をクリックすると、Viewer PPT Converter 2.0に相当する機能を実行することができます。
- Dynamic Image Utility 2.0の[ツール(T)]→[Image Express Utility 1.0の起動(N)]をクリックすると、Image Express Utility 1.0を起動することができます。

●ヘルプを表示する

準備：

Dynamic Image Utility 2.0を起動してください。

1 [ヘルプ(H)]をクリックする。

「ヘルプ」メニューが表示されます。

2 [ヘルプ(H)]をクリックする。

「ヘルプ」画面が表示されます。

●ソフトウェアを終了する

1 [ファイル(F)]をクリックする。

「ファイル」メニューが表示されます。

2 [終了(X)]をクリックする。

Dynamic Image Utility 2.0が終了します。

■ Viewer PPT Converter 2.0

●ソフトウェアを起動する

準備：

〈1〉 Microsoft PowerPointがインストールされていることを確認してください。PowerPointがインストールされていないと、Viewer PPT Converter 2.0は使用できません。

〈2〉 添付のCD-ROM からパソコンへインストールしてください(9ページ)。
添付のCD-ROM からは起動できません。

1 [スタート]メニューから[すべてのプログラム(P)]→[NEC Projector User Supportware]→[Viewer PPT Converter 2.0]をクリックする。

Viewer PPT Converter 2.0が起動します。

参考
- Dynamic Image Utility 2.0の[ツール(T)]→[PowerPointファイル変換(P)]メニューから、Viewer PPT Converter 2.0に相当する機能を実行することもできます。
- Viewer PPT Converter 2.0は、Microsoft PowerPoint 2000/2002/2003の[ツール(T)]→[NEC Projector User Supportware]→[ビューワ出力]メニューから起動することもできます。

●ヘルプを表示する

準備：

Viewer PPT Converter 2.0を起動してください。

1 [ヘルプ]をクリックする。

「ヘルプ」画面が表示されます。

●ソフトウェアを終了する

1 [終了]をクリックする。

Viewer PPT Converter 2.0が終了します。

■ Image Express Utility 1.0

●ソフトウェアを起動する

準備：

添付のCD-ROM からパソコンへインストールしてください(9ページ)。
添付のCD-ROM からは起動できません。

1 **[スタート]メニューから[すべてのプログラム(P)]→[NEC Projector User Supportware]→[Image Express Utility 1.0]をクリックする。**

Image Express Utility 1.0が起動します。

参考
- Image Express Utility 1.0は、Dynamic Image Utility 2.0の[ツール(T)]→[Image Express Utility 1.0 の起動(N)]メニューから起動することもできます。

●ヘルプを表示する

準備：

Image Express Utility 1.0を起動してください。

1 **Windows画面のタスクトレイの[ ]または[ ]アイコンをクリックする。**

Image Express Utility 1.0のメインメニューが表示されます。

2 **[ヘルプ(H)]をクリックする。**

ヘルプ画面が表示されます。

●ソフトウェアを終了する

1 **Windows 画面のタスクトレイの[ ]または[ ]アイコンをクリックする。**

Image Express Utility 1.0のメインメニューが表示されます。

2 **[終了(X)]をクリックする。**

Image Express Utility 1.0が終了します。

5.トラブルシューティング

※この章ではソフトウェア名を次のように省略しています。
Dynamic Image Utility 2.0→「DIU2.0」、Viewer PPT Converter 2.0→「PPTC2.0」、
Image Express Utility 1.0→「IEU1.0」

《現象》インストールが正常に終わらない。

チェックポイント	対　処
Windows 2000の場合「Administrators」権限でログオンしていますか？　また、Windows XPの場合「コンピュータの管理者」権限でログオンしていますか？	Windows 2000、およびWindows XPの場合は、左記の権限でログオンしてからインストールを行ってください。
インストールするパソコンにＭｉｃｒｏｓｏｆｔ PowerPoint 2000/2002/2003がインストールされていますか？ PowerPoint 2000/2002/2003がインストールされていないパソコンに本ソフトウェアをインストールすると、インストールの途中で“ PPTViewer2.dllの自動登録に失敗した ”という意味のメッセージが表示されます。	インストール途中に左記のメッセージが表示された場合は、PowerPointへアドイン登録されません。ただし、本ソフトウェアのインストールは正常に終了しています。 ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔへアドイン登録する場合は、PowerPoint 2000/2002/2003がインストールされているパソコンに本ソフトウェアをインストールしてください。

《現象》Viewer PPT Converter 2.0が機能しない（PPTC2.0）。

チェックポイント	対　処
パソコンにMicrosoft PowerPointがインストールされていますか？	パソコンにPowerPointをインストールしてください。または、PowerPointがインストールされているパソコンにViewer PPT Converter 2.0をインストールしてください。

《現象》プロジェクタコントロール機能を使って、プロジェクタの電源が入らない（DIU2.0）。

チェックポイント	対　処
パソコンとプロジェクタがUSBケーブルまたはシリアルケーブルで接続されていますか？ または、パソコンとプロジェクタがLANで接続されていますか？	添付のUSBケーブルまたは別売のシリアルケーブルで、パソコンとプロジェクタを接続してください。 または、市販のLANカードや別売の無線LANカードをお買い求めください。
パソコンとプロジェクタがLAN、USBケーブル、またはシリアルケーブルで接続されている場合、プロジェクタがアイドル状態になっていますか？	プロジェクタのメニューの[機器設定]で、[アイドルモード]を「オン」に設定してください。 また、電源コードをコンセントに接続して、主電源スイッチを「｜（入）」にしてください。

《現象》PowerPointのアドイン登録を削除したい(PPTC2.0)。

チェックポイント	対　処
パソコンにMicrosoft PowerPoint 2000/2002/2003がインストールされている場合、本ソフトウェアをインストールすると、PowerPointへのアドインが自動的に登録されます。	PowerPointのアドイン登録を削除する方法は、PowerPointのヘルプをご覧ください。 本ソフトウェアをアンインストールしてもPowerPointのアドイン登録は削除されません。

《現象》LAN環境を使ってスクリーンに投写できない(DIU2.0、IEU1.0)。

チェックポイント	対　処
LANカード(アダプタ)がパソコンとプロジェクタの双方にセットされていますか？	パソコンとプロジェクタの双方にLANカード(アダプタ)をセットしてください。
LAN の設定(パソコンとプロジェクタの双方)は終わっていますか？	パソコンとプロジェクタの双方で、LANの設定を行ってください。
１台のパソコンに有線LANと無線LANを共用(同時使用)していませんか？	どちらか一方のLAN 接続を解除してください。カードの場合はカードを抜いてください。内蔵型の場合はプロパティで使用不可にしてください。
Image Express Utility 1.0は、次のものには対応していません。 (1)DirectX を使用しているソフトウェア (2)MS-DOS 画面 (3)Microsoft Officeアシスタント (4)IME (5)動画再生ソフトを先に起動している場合や、一部のパソコン環境では、動画画面が送信できないことがあります。	
LT260JK/LT260SJKに対し、Image Express Utility 1.0のリアルタイム送信で接続しているときは、Dynamic Image Utility 2.0から画像を送信することができません。	Image Express Utility 1.0のリアルタイム送信を終了して、Dynamic Image Utility 2.0で画像を送信してください。
お使いのパソコンでパーソナルファイヤーウォール機能が動作していませんか？	パーソナルファイヤーウォール機能が動作しているパソコンで本ソフトウェアを使用するには、パーソナルファイヤーウォール機能の設定が必要な場合があります。プロジェクタと正しく通信できなかった場合は、パーソナルファイヤーウォール機能の設定を変更してください。 なお、パーソナルファイヤーウォール機能の設定方法については、ソフトウェアの取扱説明書をご覧になるか、ソフトウェアメーカーのサポート窓口へお問い合わせください。

《現象》Windows の色数が２５６色の場合に色がおかしくなる(IEU1.0)。

チェックポイント	対　処
Image Express Utility 1.0は、２５６色には対応していません。	Windowsの色数の設定をHigh Color(15bit)以上に設定してください。

《現象》 本ソフトウェアの動作が不安定になる(DIU2.0、IEU1.0)。

チェックポイント	対　処
本ソフトウェア(Dynamic Image Utility 2.0、Image Express Utility 1.0)の起動中(動作中)にプロジェクタやパソコンのネットワークの設定を変えた場合、動作が不安定になることがあります。	プロジェクタおよびパソコンを再起動してください。ネットワークの設定を変更する場合は、本ソフトウェアを終了してから行ってください。
Image Express Utility 1.0で、リアルタイム送信中に画面の解像度を変えると、アプリケーションエラーが発生します。	画面の解像度を変更する場合は、Image Express Utility 1.0を終了してから行ってください。

《現象》「一般検索」でプロジェクタが見つからない(IEU 1.0)。

チェックポイント	対　処
無線LANの設定はあっていますか？ チャンネル番号は、パソコンとプロジェクタで同じものに設定されていますか？ WEP(暗号化)を設定している場合、パソコンとプロジェクタの双方で、同じ値に設定されていますか？	アクセスポイント、パソコンの設定値とプロジェクタの[LANモード]の設定値を確認してください。 インフラストラクチャや、802.11アドホックをご使用の場合、SSIDは大文字、小文字の区別がありますので、同じ文字列に設定してください。
電波の状態は良好ですか？	アクセスポイント←→パソコン間に障害物がないかを確認し、パソコンをアクセスポイントに近付けたりしてみてください。
パソコンとプロジェクタのTCP/IP設定(IPアドレス、サブネットマスクなど)は正しいですか？	ネットワークの設定が同じセグメント内にあるかを確認してください。
１台のパソコンで、複数のネットワークカード(NIC)を使用していませんか？	プロジェクタに接続するネットワークカード(NIC)のみを“ 有効 ”にしてください。 プロジェクタとの接続に使用しないネットワークカードは、「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「ネットワークアダプタ」でネットワークカード名をクリックし、[プロパティ(R)]をクリックして、デバイスの使用を“ 使用不可 ”にしてみてください。

《現象》 PowerPointのスライドショーなどの画面切り替え処理に追従できない(IEU1.0)。

チェックポイント	対　処
Image Express Utility 1.0では、一定時間ごとにパソコンの画面の状態をプロジェクタへ送信しているため、スムーズな画面切り替え処理やアニメーション効果には追従できません。	PowerPointの画面切り替え効果やアニメーション効果などの設定を「なし」にしてお使いください。

《現象》 パソコンからプロジェクタへの画面送信に時間がかかる場合がある（IEU1.0）。

チェックポイント	対　処
• 画像の絵柄により、送信時間がかかる場合があります。 • 複数台のプロジェクタへ同時に画面を送信する場合、プロジェクタの台数が増えるに従って送信時間がかかるようになります。 • ネットワーク環境により、送信時間が変化することがあります。 • パソコンの性能や、同時に起動している他のアプリケーションソフトによって、送信時間がかかることがあります。	――――――――
パソコンの解像度とプロジェクタの解像度が異なる場合、解像度変換処理が増えるため、送信時間がかかるようになります。	パソコンの解像度をプロジェクタの解像度と同じ設定にすることをおすすめします(除くGT6000)。 GT5000、MT1065J、MT1060J、MT1075J、LT260J、LT260SJ、LT260JK、LT260SJK、WT600Jの解像度は、1024×768ドットです。 LT220Jの解像度は、800×600ドットです。 GT6000へ画像を送信する場合は、パソコンの解像度を1024×768ドットにしてください。

《現象》 スライドショー転送の画像サイズが通常時と異なる（PPTC2.0）。

チェックポイント	対　処
PowerPointを起動中にImage Express Utility 1.0を起動すると、PowerPointアドイン機能（スライドショー転送実行）でプロジェクタへ転送される画像サイズが通常時と異なることがあります。	PowerPointを再起動してください。

《現象》 プレビューの画面サイズが通常時と異なる（DIU2.0）。

チェックポイント	対　処
Dynamic Image Utility 2.0を起動中にImage Express Utility 1.0を起動すると、Dynamic Image Utility 2.0のプレビュー機能の画面サイズが通常時と異なることがあります。	Dynamic Image Utility 2.0を再起動してください。

© NEC Viewtechnology, Ltd. 2002-2004　Printed in Japan　　2004年4月　4版
ＮＥＣビューテクノロジー株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

NECプロジェクタ　アプリケーションガイド

NEC Projector
User Supportware

■ Dynamic Image Utility 2.0
■ Viewer PPT Converter 2.0
■ Image Express Utility 1.0

古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK
大豆油インキを使用しています

7N8P1904